

令和2年度の森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績	税導入の効果
			うち当該年度の森林環境譲与税（千円）			
人材育成・担い手	ふくい林業カレッジ研修事業	15,333	15,333	将来の福井の林業を担う若い人材を育てるためのふくい林業カレッジの運営	・研修生9名を育成	<p>【事業の成果】 県の森林環境譲与税は、林業カレッジの運営など林業の担い手確保・育成に活用した。令和2年度においては、林業カレッジの研修生7名を含め、年間の新規林業従事者数は、県の目標20名に対し、約1.4倍となる27名が就業した。</p> <p>【詳細】 県は、市町を対象に地域協議会の開催や地域林政アドバイザーを派遣することにより、全国の優良事例の紹介や具体的な事業提案を行うなど、市町の森林整備が進むよう継続的に助言・指導を行った。 市町の森林環境譲与税は、森林管理を進めるための意向調査に活用されている。また、令和3年度には民家に近い森林での間伐など地域の実情に応じた森林整備が10の市町で計画されている。</p> <p>さらに、一部の市町では、森林環境譲与税の配分を契機として市町における森林・林業の基本構想が作成されており、今後は、市町の実情に合わせた森林管理を進めることができると考えている。</p> <p>残額は令和3年度の人材育成・担い手対策に使用するため、基金に積み立てた。</p>
	林業担い手確保・定着事業	2,032	2,032	新規林業就業者の確保を図るため、就業用の冊子を作成し就業相談会などで広く活用	・林業事業体を掲載したガイドブックを作成	
	林業従事者安全サポート事業	1,872	1,872	労働安全装備の購入への補助および安全に関する研修を開催	・防護ズボン、空調服、保安帽、防振・耐切創手袋などの購入支援	
	林業事業体パワーアップ事業	9,579	9,579	林業事業体の経営力を高めるためのソフト支援および木材搬出作業の効率化や生産拡大のためのハード整備に支援	・グラップルなどのアタッチメント、運搬トラックの改良、無線機などの購入支援	
	県産材搬出機械化支援事業	5,886	5,886	高性能林業機械の自社保有が可能となる規模の生産量へと拡大を図るため、機械レンタル経費を支援	・民間事業者8社に支援	
	森林資源活用支援事業	7,964	7,964	自伐林家や特用林産物生産者等が森林の適正な維持管理を目的に行う取組に必要な経費に支援	・チェーンソー、薪割り機、植栽用苗木、鳥獣害対策資材などの購入支援	
市町支援	市町森林整備推進支援事業	578		地域協議会の開催や市町からの相談対応として地域林政アドバイザーを派遣	・県内5地区で地域協議会を開催（合計8回実施）	
	新たな森林管理システム促進事業	3,299	3,299	森林経営管理制度の円滑な運用を図るため、森林情報のデータを整備	・路網情報を整備	
基金積立		20,957	20,957	翌年度の人材育成等のため、基金に積立（事業執行残）		
合計		67,500	66,922	578		